令和4年度



活動報告書



令和4年12月20日 八潮市教育委員会

概要

子ども達の学習に対する興味・関心を喚起させ、知的好奇心や探究心を養い、将来の夢や 希望を持たせることを目的として「八潮こども夢大学」が、平成26年度より開設されました。

令和3年まで、新型コロナウィルス感染拡大の為、開校が中止せざるを得ませんでした。 令和4年に入り、新型コロナウィルス感染拡大も落ち着いてきて、各大学の協力を得ながら 開校することができました。聖徳大学・看護学部看護学科(10月15日)、淑徳大学・人文学 部表現学科(10月22日)、聖徳大学・文学部文学学科(11月26日)、昭和大学・医学部(12月3日)、東海大学・情報通信学部(12月10日)の4校、5回の大学訪問を実施しました。

小学校では経験できない授業が受けられた事により、子ども達は新しい発見が見いだせた と思います。

市内の小学生 11 名(5 年生 5 名、6 年生 6 名)が、令和 4 年度「八潮こども夢大学」を修了することができました。



大学は社会に役立つ事、人に役立つ事を研究・勉強しています。

1 参加人数

大学訪問の参加人数は下の表のとおりです。

単位:名

実施日等	児童	保護者	八潮市	NPO	合計
【第1回】聖徳大学(看護学部)	9	6	1	2	1 8
10月15日(土)					
【第2回】淑徳大学(人文学部)	1 0	5	1	2	1 8
10月22日(土)	10	5	'	2	10
【第3回】聖徳大学(文学部)	7	4	2	2	1 5
11月26日(土)	,	4		2	1 5
【第4回】昭和大学(医学部)	1 0	6	1	2	1 9
12月 3日(土)	10	0	'	2	19
【第5回】東海大学	9	5	1	2	1 7
12月10日(土)			•	_	1 /

第1回 八潮こども夢大学報告(聖徳大学)

実施日	令和4年10月15日(土曜日)	
会 場	聖徳大学 松戸キャンパス(看護学部看護学科)	
経路	TX八潮駅 ⇔ 北千住駅 ⇔ JR 常磐線・松戸駅 ⇔ 聖徳大学(徒歩約10分) 片道所要時間:約50分	
参加者	児童:小学5年生(3名)、小学6年生(6名)、保護者:6名 計15名 引率者:八潮市教育委員会指導課1名 NPO2名	
内容	体験授業:『耳をすまして全集中!~体から聞こえる音色~』 【担当】 谷川千佳子先生、軽部由有子、学生3名	













児童の感想

- 〇脈拍や心臓の音を聞いたり、ロボット患者さんの様子をうかがったりと、たくさんの事を学びました。そして学校では体験できないようなことも体験できました。
- ○病気の音を聞くことができて、どれが異常なのかを知る事ができました。 た。ロボットが普通に接してくれて驚きました。
- 〇患者ロボット「シムマン3G」は、本物の患者さんみたいに会話ができ たので、良い経験になったと思います。



保護者の感想

- ○本物の聴診器を使って音を聞くなど、とても楽しかったです。子どもも 積極的に参加していたようで、大学のイメージが少しわいたかなと思い ました。在校生の雰囲気がとても良かったです。
- ○普段病院での診察で聴診器をあてられることはあっても、実際どんな音が聞こえているのか、聞くことがなかったので興味深かったと思います。 微妙な音の差を感じ分けている看護師さんはとても繊細な仕事だし、 コミュニケーションも重要な気を使う仕事だと感じました。

≪聖徳大学での活動の様子≫



これから出発だ!



川並学長のご挨拶 勉強とは自分でやりたいことを 見つけていくことです。







自分の心臓の音や、ロボットの肺の音を聞いています。





≪聖徳大学での活動の様子≫







患者ロボット「シムマン3G」へ 元気ですかと声をかけると 「元気です」とかえってくる。



閉校式 児童代表挨拶 大瀬小学校 酒井 菜々子 さん 感謝の気持ちを伝えました。

増井副学長のご挨拶



第2回 八潮こども夢大学報告(淑徳大学)

実施日	令和4年10月22日(土曜日)10:00~12:10
会場	淑徳大学 東京キャンパス (人文学部表現学科)
経路	TX八潮駅 ↔ 北千住駅 ↔ 千代田線西日暮里駅 ↔ JR池袋駅 ↔ ときわ台駅 ↔ 淑徳大学(徒歩約10分) 片道所要時間:約1時間15分
参加者	児童:小学5年生(4名)、小学6年生(6名)、保護者:5名 計15名 引率者:八潮市教育委員会指導課1名、NPO2名
内容	体験授業:『グループに分かれて、演劇ワークショップ』 【担当】中野正昭 教授、学生5名

งงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงงง











児童の感想

- 〇今日学んだ、即興で演技をするのが、楽しかったです。最初に やった、手を鳴らして隣の人につなげるのが、皆の名前を覚え ることができました。
- ○演劇の体験で、学生さんと一緒に「題」にそって演じた時に、 最初はなじめなかったけれど、だんだん学生さんと仲良くなれ て、とても楽しかったです。皆の前で演じる事に、意外と緊張 しなかったです。
- 〇作文などする時に、どうしたらおもしろい文ができるかなどを 考えて、要素を一つ加えてみたいと思いました。



保護者の感想

- 〇今回の体験授業は初めてな事なので、戸惑っているようでした。しかし、他のこども達、学生さんと話すことが必要になり、コミュニケーションが取れるきっかけになりました。少しずつですが、自分を出すことができて、この学習の目的にそった学習ができました。
- ○児童が紙に書いたキーワードで、即興で劇を作っていく事に、コミュニケーション力が身につく事と、周りをみて判断できる力や考えて発言する力が、初めての経験で楽しく身につけられたと思います。

≪淑徳大学での活動の様子≫



小川学部長のご挨拶

知識、学問に対する視野を広げ、応用する力を身につけます。



指導してくれる 学生さんたちです。



開校式 児童代表挨拶 八幡小学校 土屋 潤人 さん



隣の人の名前を言いながら、 手を叩こう。最初はゆっくり、 だんだん早くしよう。



≪淑徳大学での活動の様子≫



思いついた「ワード」を記入 しました。

紙に書かれた「ワード」から 即興劇をつくります。





閉校式 児童代表挨拶 大瀬小学校 坂東 直樹 さん







第3回 八潮こども夢大学報告(聖徳大学)

実施日	令和4年11月 26日(土曜日) 10:00~13:30
会 場	聖徳大学 松戸キャンパス(文学部文学科)
経路	TX八潮駅 ↔ 北千住駅 ↔ 常磐線松戸駅 聖徳大学(徒歩約10分) 合計所要時間:約40分
参加者	児童:小学5年生(4名)、小学6年生(3名)、保護者:4名 計11名 引率者:八潮市教育委員会2名、NPO2名
内容	体験授業 ①「司書体験〜お話会をやってみよう〜」 ②子どもと本をつなぐ技術について学び、図書館を利用して、お話会 を実施する。 【担当】石井 大輔先生、片山 ふみ先生、坂本 俊先生

vvvvvvvvvvvvvvv











児童の感想

- ○紙芝居や手遊びなど、いろいろなことを学ぶことができました。特に 読み聞かせが苦手で、最初はできるかなと、心配になりました。だけ ど、今回の学びで、恥ずかしがらなくてもいいんだ!と思いました。
- ○読み聞かせをしたことはありましたが、その時はスピードや声の強弱をあまり気にしていませんでした。先生から「もうちょっとゆっくり」や「ここを強調するといいよ」などアドバイスをいただけました。本番では練習通りに意識して読めました。「こうしたらおもしろいかな」と思いながらできて、とても良い経験になりました。



○子どもたちは、最初はあまり積極的な感じがありませんでしたが、先生の 指導力がとても上手で、子どもたちの様子が変わっていったのが印象的で した。またとても素敵な図書館なので、本の見学もできると良かったです。 ○お話会を体験して、子ども達にわかり易く、いろいろな気遣いをして読み 聞かせをしているという事がわかりました。子どもと一緒に体験できて、

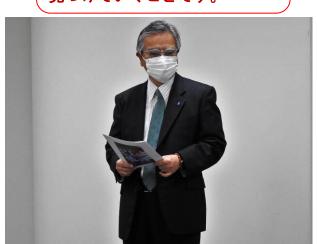
保護者の感想

≪聖徳大学での活動の様子≫

貴重な思い出になりました。



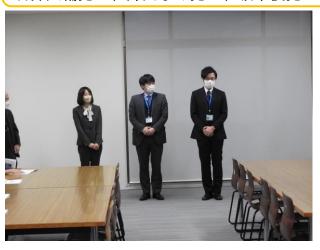
川並学長のご挨拶 勉強とは自分でやりたいことを 見つけていくことです。



開校式 児童代表挨拶 大原小学校 麦林 洸亮 さん



本日担当の先生石井大輔先生、片山ふみ先生、坂本俊先生



<u>スタジオを見学</u> テレビ局みたい!



≪聖徳大学での活動の様子≫

本日のお話し会のプログラム

てあそ

- 1. 手遊びうた『はじまるよ はじまるよ』 (2人)
- 2. 絵本の読み聞かせ『ちびゴリラのちびちび』(3人)
- 3. 紙芝居『おおきくおおきくおおきくなあれ』(3人)
- 4. 手遊びうた『さよならあんころもち』 (2人)

プログラムにそって、担当を決めて紙芝居や絵本の 話聞かせを行いました。









こども図書館の本棚には 聖徳大学の蔵書が約55万冊あります。





第4回 八潮こども夢大学報告(昭和大学)

実施日	令和4年12月3日(土曜日)9:00~12:00		
会場	昭和大学 旗の台キャンパス (医学部)		
経路	TX八潮駅 ↔ 秋葉原駅 ↔ JR大井町駅 ↔ 東急旗の台駅 ↔ 昭和大学(徒		
	歩約10分)		
	合計所要時間:約1時間10分		
参加者	児童:小学5年生(4名)、小学6年生(6名)、保護者:6名 計16名		
	引率者:八潮市教育委員会1名、NPO2名		
内容	体験授業『医学生と共に学ぼう!目指せスーパードクター!!』		
	【担当】泉 美貴教授、川原 千香子准教授、学生3名		













児童の感想

- ○胸骨圧迫の体験では、最初は5~6 c m押すのが大変でした。でも 最後はきちんと押せるようになりました。ピンセットを使って縫う のが難しかったです。しかし、コツをつかんだら、たくさん縫えま した。肺の音のクイズでは、異常の音と正常な音と聴き分けるのが 大変でした。
 - OAEDの使い方を改めて知ったので、生活の中で、AEDの場所を 知っておくなど、対策していきたい。



保護者の感想

- ○医療従事者の方々の日々の御苦労や、自分自身も先生や看護師さん達に助けられていることを実感しました。AEDは実際その場面に遭遇した時に、果たして使えるか不安です。今日の体験が今後の生活にいかせるようにしていけたら幸いです。
- ○泉先生が、毎日この仕事について良かったと思っていると聞いて、 凄いことだと思いました。夢大学を通して、子ども達が、域外の ある仕事につくきっかけになればと思いました。

≪昭和大学での活動の様子≫』



八潮こども夢大学

ようこそ昭和大学へ

スーパードクターを 目指そう!

川原 千香子准教授 これから3グループに分かれて 体験してします。



サポートの学生



泉 美貴教授のご挨拶 医者は「人の為になる、人の命を救う」 という強い気持ちをもっている。



開校式・児童代表挨拶 大瀬小学校 塩幡 千紗さん



≪昭和大学での活動の様子≫』



皆に白衣が提供されました。









閉校式 児童代表挨拶 八幡小学校 中島 理紗 さん







第5回八潮こども夢大学報告(東海大学)

実施日	令和4年12月10日(土曜日)10:00~12:00
会場	東海大学 高輪キャンパス(情報通信学部)
経路	TX八潮駅 ↔ 北千住駅 ↔ 日比谷線人形町駅 ↔ 都営浅草線泉岳寺 ↔ 東海大学(徒歩約10分) 合計所要時間:約1時間10分
参加者	児童:小学5年生(4名)、小学6年生(5名)、保護者:5名 計14名 引率者:八潮市教育委員会1名、NPO2名
内 容 体験授業①:生涯スポーツ体験「ボッチャとインディアカ体験」 【担当】田丸 智也 先生 体験授業②:VR(バーチャルリアリティ)体験 【担当】佐藤 先生、荒木 先生	



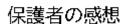






児童の感想

- 〇ボッチャ体験では、チームの人とどこにボールを投げたら良いのかを 考えながら楽しく活動ができました。インディカは、最初はバトミン トンの進化版みたいなものと思っていましたが、バレーボールに近い ものと知りました。
- ○スポーツ体験では、コミュニケーションや考える力を生活に活かそうと思いました。VR も、未来に何かいかせることがあるのか、調べたいと思いました。
- ○東海大学は色々な学部があることが、よくわかりました。オリンピックを目指すスポーツから生涯スポーツまで、スポーツと言っても様々だという事がわかりました。
- OVR 技術が、今後どのように発展し、どのように応用されるのかなど説明があると、子ども達の将来につながりやすいのではと思いました。



≪東海大学での活動の様子≫



開校式挨拶 高輪ブランチマネージャー代行 松山 裕子 氏



開校式 児童代表挨拶 八幡小学校 湯瀬 歩希 さん



体験授業①:『ボッチャとインディカ体験』

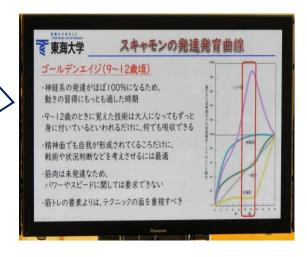
スポーツプロモーションセンター 北濱 翰士准教授





スキャモンの発達発育曲線

- ゴールデンエイジ(9-12歳頃)
- *神経系の発達がほぼ100%になる為、動きの習得に適した時期。
- * 9 1 2歳に覚えた技術は、大人に なっても身についている。



≪東海大学での活動の様子≫

白いボール (ジャックボール) に近いのが、ナンバーワン!

ボッチャ

赤ボールか青ボールか どっちが勝った?





キャッチング・ザ・スティック

インディカ



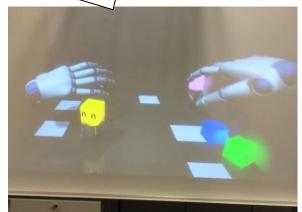




体験授業②:『VR 体験』

パソコンに手をあてて、手を動かすと 画面でも同じ動きをする。すご一い!





なぜなの! どうしてなの! 調べてみよう!!

